

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月21日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富士宮市役所	代表者名	佐野 利幸
担当者部署	企画部電算統計課	連絡先電話番号	0544-22-1117
担当者役職		担当者氏名	
住所	418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月5日	9時00分	16時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	同上		最寄駅	富士宮駅
	所在地	同上			
	最寄駅からの交通手段	同上			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市職員のうちIT推進リーダー	69人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・市職員のオープンデータの十分な理解が進んでいない。 ・オープンデータ推進のための運用指針が決定されていない。 ・オープンデータ推進に当たり、取り組むべき事項や手順について決定していないこと。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・職員の理解を深めることを目的とし、オープンデータ推進研修を実施する。 ・国の定める推奨データセットを中心に、庁内保有データを二次利用可能な状態で順次公開する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・オープンデータ推進の意義及び他市事例について講義していただいた。 ・市で保有するデータのオープンデータ化を考えるワークショップを実施したことで、職員がオープンデータを具体的に考えることができた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・オープンデータに取り組む意義や他市事例を紹介していただいたことで、オープンデータについて職員の理解を深めることができた。 ・ワークショップを通して、市保有のデータのうちのどのデータをオープンデータ化することができるか、市職員が考えることができた。さらに、各課の保有するデータの把握や、その内オープンデータ化しやすいデータにはどんなものがあるかを整理することができた。 ・前回派遣の結果、「富士宮市オープンデータの推進に関する指針」を令和元年11月1日付けで策定することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・国の定める推奨データセットを中心に、各課へデータ提供依頼をすること	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 オープンデータ推進の意義について、職員の理解が深まった結果となった。今後どのように市保有データをオープンデータ化していくか、手順等をもっと知りたかったという声が挙がったので、各課へ周知を図りたい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	推奨データセットを中心に、庁内各課と連携して市保有データを順次オープンデータ化していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

